

大切な宗像のために。



いつも全力！

宗像市議会 建設産業常任委員会 副委員長  
あべ よし ひで  
**安部 芳英**

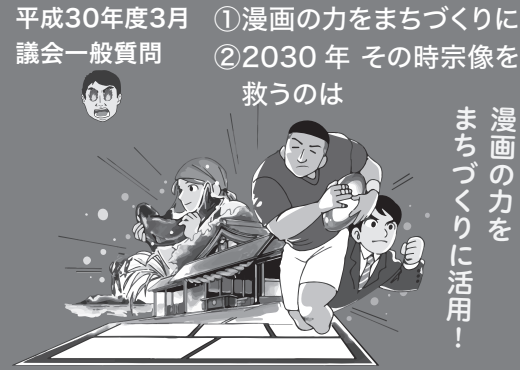
〒811-4175 宗像市田久6丁目1番  
Tel/Fax 0940-32-1386  
メール abeyoshihide@gmail.com  
ホームページ http://abe-yoshihide.jp/



？あの提案はどうなった？

- ①多くの市民が利用するふれあいの森運動公園の課題改善
- ②防犯カメラ付自動販売機の設置

頑張る市民を全力でバックアップ！  
～訪問編～



漫画の力を  
まちづくりに活用！

## 平成30年度3月定例会 一般質問 安部よしひで提案内容

### ① 漫画の力をまちづくりに

漫画の持つ力 → 「理解しやすく、主人公(当事者)になれる」

これまで行ってきた提言

- ①宗像の地名や史跡、施設などを本やアニメ、ゲームソフトなどに使用してもらえるように、自薦、他薦で募集し、作品はタウンプレスやSNS、ホームページ、図書館などで取り上げ、功績のあったものについて表彰する
- ②芸術家の発掘、育成、活動の場の創出と、宗像の魅力を世界発信や離島観光振興などに活用する機会の創出を目的として、芸術作品、音楽、絵本、アニメ、映像などの作品公募を行う
- ③宗像の魅力を国内外に発信すること、企業誘致、産業誘致、健康増進、スポーツ振興、観光振興、全てのまちづくりのブランド化を図ることを目的に、宗像応援大使を創設し、この中で漫画家を任命する
- ④映像を活用した宗像の継承の必要性



宗像市の事業に漫画を活用することでどのような効果が期待できるか。執行部に対して宗像市の従来の定住化のチラシと市民に依頼して漫画制作してもらったチラシを比較して説明を行いました。

従来の定住化のチラシ

文字ばかりで読みづらい…

あんまり頭に入ってこないかも



市民に依頼して漫画制作してもらったチラシ

当事者目線で理解しやすい！

そうそう！私も思った!!



### 古家購入建替え補助制度



わかりやすく伝わりやすいという漫画の利点はプロモーションや観光の分野でも有効であり、効果のある手段の一つと考える。



宗像市も漫画の持つ力について理解をしていただきましたので、今後漫画を活用したまちづくりが進められると手ごたえを感じました。



そもそも論として、国の文化芸術基本法には漫画やアニメが定義付けされているのに、宗像市の計画などには定義付けがなされておらず、今後漫画を色々なまちづくりに活用していくのであれば定義づけを検討すべきではないか。

次期計画見直しの時に対応について検討していきたい。



### ② 2030年 その時宗像を救うのは

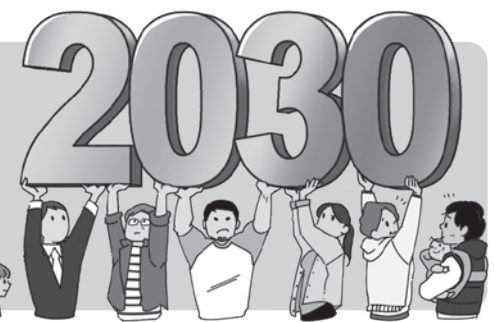


2030年には総人口約9万人、高齢者人口約3万人、生産年齢人口約5万人となり、労働人口の減少による市税収入の減少、社会保障制度の悪化などによる日常困難者の増加、農村荒廃の深刻化や介護、医療の問題など、様々な事象が生じることが危惧されています。

だからこそ手を尽くさなければなりません！



2030年宗像を救うのは市民です、特に将来宗像を担う世代も含めて丁寧に時間をかけて危機感の共有をしなければ、だれも責任を持たないままその時を迎えてしまいます、2030年に向けて市民の意識共有を行う必要性がある



市民との意識共有については広報誌での情報提供や機会を設けることも検討していく。



日本の人口は確実に減少傾向にありますので、隣町から住民を呼び込むような定住施策には限界があります。元祖国際都市を標榜する宗像市が国際交流政策にとどまってい、いまだ多文化共生に関する具体的な政策や具体的なロードマップがないので、交流から、多文化共生（※インターカルチュラルシティ）政策へシフトすべきでは？

今後研究してまいります。



過去、誰も多文化共生に関して触れてきませんでした、今回宗像市の将来に大きく影響する政策提言を行うことが出来たと手ごたえを感じています。

※インターカルチュラルシティってなに？

移住者や少数者によってもたらされる文化的多様性を、脅威ではなくむしろ好機ととらえ、都市の活力や革新、創造、成長の源泉とする新しい都市政策として、欧州ではこのアプローチが注目されています。



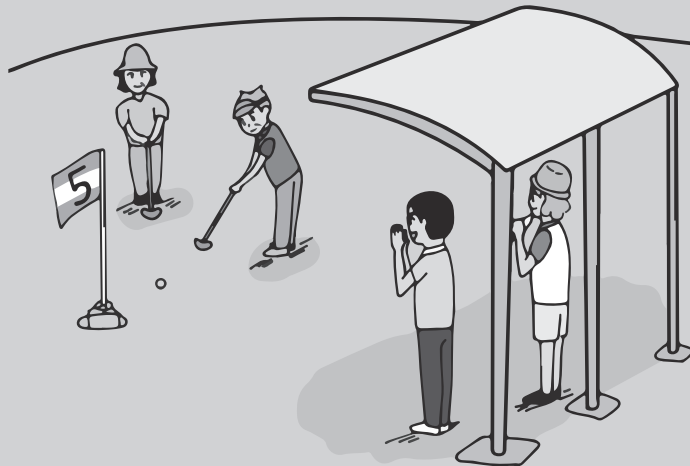


## ? あの提案はどうなった? ①

### 多くの市民が利用するふれあいの森運動公園の課題改善

平成27年3月定例会、平成28年6月定例会の一般質問において駐車場の増設の必要性、グラウンド状況、日陰スペースがないことの課題についてグラウンドゴルフやソフトボール大会などに出場し現場の不備、課題を体感したうえで執行部に指摘を行い、対策を求めていました。

平成30年4月1日より、公園がリニューアルされて屋根が新設され日陰スペースが確保されたことで、より多くの利用者が賑わっています。



実は私、宗像市グラウンドゴルフ協会最年少会員です

## ? あの提案はどうなった? ②

### 防犯カメラ付自動販売機の設置

青少年を巻き込む卑劣な犯罪が多発しており、その解決のきっかけに防犯カメラの存在があります。

平成26年6月定例会で、公共施設に設置されている自動販売機を、防犯カメラ機能が付いた自動販売機にすることで、防犯カメラ設置コストやメンテナンス費用の抑制などができるので検討してみてもと提案しておりました。

今回、防犯カメラ支援NPOと宗像市とで協定書が交わされ防犯カメラ支援自動販売機が市内に設置されることになりました。提案当時に事例の情報を提供して下さった方々、応援して下さった方々のご尽力が実りました。



自販機でも防犯カメラが見張っている!



市民による防犯活動と防犯カメラの設置で、宗像市の安心安全がより一層強化されると思います。



## 頑張る市民を全力でバックアップ! ~タイ訪問編~

宗像市を拠点に活動する女子フットサルチーム「フェルサ」の末永監督からの相談を受け、3月25日~27日タイ王国を訪問しました。選手の渡航費の一部は「クラウドファンディング」(インターネットを通じて多くの方々に寄付を呼び掛ける仕組み)を活用して9万円ほど資金が集まりました(不足分は選手の自己負担です)。



訪問にあたっては在タイ福岡県事務所の職員のご協力をいただきました。

女子サッカーの代表選手も所属する女子チームと試合し、タイの男子フットサル代表チームの監督の指導を受けることも出来てフェルサメンバーはとても充実した遠征となったようです。

訪問内容

また、宗像市の鎮国饅頭や海外向けの宗像の紹介冊子などをタイの選手に渡し、宗像市のPRもしっかり行ってきました。交流の様子は西日本新聞でも取り上げられ反響もいただきました。

最終日は日本国大使館を表敬訪問させていただき、宗像市の谷井市長からお預かりしていた親書を、対応してくださいました一等書記官にお渡しいたしました。今年10月には福岡市にタイの総領事館が開設される予定ですので、福岡県(宗像)とタイの友好、スポーツ交流を築く取り組みを続けていきたい旨をお話しさせていただきました。



▲タイの女子フットサルチームと交流するフェルサ



▲交流の様子が西日本新聞に掲載



プライベートを利用して、タイで宗像をPRしてきました!女子フットサルのワールドカップが日本で開催される時には、是非宗像市で海外の代表選手がキャンプをしてくださるよう、アンテナを立てて活動に邁進する所存です。

### 2018年6月20日の定例会での質問予定

- 2030年までに何をすべきか
- ナイトタイムエコノミーについて



ご期待!